

会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回スポーツ推進審議会
事務局	生涯学習部生涯学習課
開催日時	令和4年2月14日(月) 18時から20時まで
開催場所	801会議室
出席者	<p>会長 田中 幸夫 委員</p> <p>副会長 本橋 玲子 委員</p> <p>委員 中川 稔 委員 服部 啓次郎 委員</p> <p>樋田 和博 委員 檀原 延和 委員</p> <p>野川 春夫 委員 長谷川 貴広 委員</p> <p>木藤 早紀 委員 佐藤 里咲 委員</p>
教育長	大熊 雅士
事務局	<p>生涯学習部長 藤本 裕</p> <p>生涯学習課長 関 次郎</p> <p>オリンピック・パラリンピック兼</p> <p>スポーツ振興担当課長 内田 雄介</p> <p>スポーツ振興係主査 小平 文洋</p> <p>スポーツ振興係主任 岡本 康夫</p> <p>スポーツ振興係主任 津田 理恵</p> <p>ランドブレイン株式会社</p>
傍聴の可否	可 一部不可 (不可)
傍聴者数	-
傍聴不可等の理由等	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため
会議次第	<p>1 正副会長の互選</p> <p>2 小金井市のスポーツ行政の概要及びスポーツ推進審議会について</p> <p>3 小金井市スポーツ推進計画の策定について</p> <p>4 令和4年度 会議開催日について</p> <p>5 その他</p>
発言内容・発言者名	別紙審議結果のとおり
提出資料	別紙のとおり

内田課長 皆様ちょうどおそろいになりましたので、定刻ですので、開会させていたただきたいと思います。

私、事務局でありますオリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長の内田と申します。よろしくお願いいたします。

申し訳ございませんが、着席でこの後、続けさせていただきます。

本日、まん延防止等重点措置期間中ということではございますが、第1期第1回目、一番最初ということですので、皆様には御足労いただいた次第です。できるだけ短時間でと考えております。円滑な議事進行に努めますので、どうぞ御協力のほどよろしくお願いいたします。

まず、委嘱状の交付式から始めさせていただきます。

皆様を代表しまして、体育協会の中川稔様に、教育委員会を代表しまして教育長の大熊雅士から委嘱状をお渡しします。なお、中川様以外の皆様には、既に机上に委嘱状を配付させていただいております。これをもって代えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

中川様には、恐れ入りますが、その場で御起立いただいて、よろしくお願いいたします。

大熊教育長 委嘱状。中川稔様。小金井市スポーツ推進審議会委員を委嘱する。期間、令和4年2月14日から令和6年2月13日まで。令和4年2月14日、小金井市教育委員会。どうぞよろしくお願いいたします。

中川委員 はい。承ります。よろしくお願いいたします。

内田課長 それでは、教育長から一言挨拶をお願いします。

大熊教育長 皆さん、このコロナ禍ではありますが、このようにお集まりいただきまして、誠にありがとうございました。

今後は様々な形で行うことも考えられますが、第1回目ですので、このような形で皆さんにお集まりいただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

折しも今、冬のオリンピックが開催されているときであります。先日は夏のオリンピックも、コロナ禍ではありますが、開催され、

パラリンピックも充実した大会になったかなと思っています。

こういうオリンピック・パラリンピックは、見ていると、自分の中の運動をしようという気持ちがざわざわしてきて、何かしなければならぬ、何か一步進めたいなという気持ちになるものでございます。皆さんはいかがでしょう。

僕も長年スポーツをやってきた身だと、もう一度やってみようという気持ちが湧き上がってくるところです。多くの市民の皆さんも、観戦を通してそういう気持ちが少し柔らかくなって動き出す時期ではないかなと思っています。

啖啄同時という言葉がありまして、卵がかえるときに、中のひよこがもう少しで殻を破ろうという、そのときまで待ってあげて、親鳥がそこをトントントンと突くと、その殻が割れてひよこが出てくると。今まさに、市民の多くの人々の気持ちの中に何かやろうという小さな動きが出てくる、そんな時期じゃないかなと考えています。そのときに、トントントントンと殻をちょっとだけ破ってあげると、スポーツをする気持ちが大きく花開くのではないかなと考えているところです。

それともう一つ、そういうことがなぜ大事かという、やはり人生100年、150年時代、もう150年になるんじゃないかと先日言わせていただいたんですけども、そういう時期を迎えております。そういうときに、いわゆる健康年齢というんでしょうか、自分の体を自分なりに動かして生きていくことができる時間を一日でも長くするということが必要なのではないかなと思います。そのときに、今言ったスポーツが何より重要であると考えます。

そうすると、今、小金井市民の皆さん方が生涯にわたって健康でいられるために、そして、一人一人の市民の皆さんの心の中にやってみようという僅かな心の膨らみをしっかりと受け止めて、生涯にわたってしっかりと、確かに楽しく生きていけるようにするためのスポーツを、今さらに進めていく必要があるのではないかなと思います。

長々、話をさせていただきましたが、これからの小金井のそういうスポーツをどのように進めていったらいいかという羅針盤をここにお集まりの皆さん方につくっていただいて、それを基に多くの地域の方々と力を合わせて、小金井のスポーツをさらに推進していきたいと思っております。羅針盤が大事です。羅針盤がずれていたら、違

う方向に行ってしまうと思います。皆さんでしっかりとその方向を見定めていただいて、小金井の全ての市民の人たちの幸せを少しでも増進させていただきたい、そういう願いでこの会をつくりました。

重責ですよね。でも、市民一人一人のためにどうかよろしく願いいたします。

スタッフも、この会をつくるためにずっと頑張ってきました。ようやくできました。これをもって小金井の生涯スポーツをさらにさらに推進していく覚悟でございますので、皆さんと力を合わせて頑張りたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

内田課長 教育長ですが、公務がございますので、ここで退席させていただきます。

大熊教育長 どうか皆さん、よろしく願いいたします。

内田課長 続きまして、初めてというところもございますので、自己紹介をさせていただきたいと思います。

まず、事務局のほうから御挨拶させていただきます。

私、繰り返しになりますけれども、オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長の内田と申します。オリンピック・パラリンピックに向けて、オリンピックの賑やかじゃないんですけれども、ここでさらにスポーツ振興というところで弾みをつけたいという思いもありまして、教育長からも今、御挨拶がありましたけれども、こういう審議会をつくらせていただきました。これからいろいろとお世話になると思いますが、よろしく願いします。

生涯学習部長のほうからお願いします。

藤本部長 スポーツを所管しております生涯学習部長の藤本と申します。

本日は、委員に就任いただきありがとうございます。

本市におけるスポーツ行政の課題としましては、後で担当のほうからも説明がありますけれども、小金井市スポーツ推進計画の策定を含めまして、スポーツ施設の在り方ですとか、スポーツ団体の方々との連携の強化、また、スポーツの推進事業の在り方、また、スポーツを通じた健康増進を図ることにより、教育長も先ほど挨拶

で申しましたように、健康長寿社会の実現を目指すことも重要となっております。これからもさらにスポーツを推進していくことが必要であります。

ウィズコロナという状況が続くことが想定されますけれども、本審議会におきまして、様々な立場での委員の皆様からの御意見を伺いながら、小金井市のスポーツの振興を図ってまいりたいと考えております。これからの2年間、どうぞよろしくお願いいたします。

内田課長 続きます。生涯学習課長から御挨拶させていただきます。

関課長 生涯学習課長の関と申します。同じ課の課長ではございますが、私は生涯学習係、放課後の子供の居場所等と成人式だったり、青少年教育や、文化財を担当している者でございます。

本日はありがとうございます。よろしくお願いいたします。

内田課長 続きます。スポーツ振興係の主査から御挨拶させていただきます。

小平主査 生涯学習課スポーツ振興係の小平と申します。

私は主にこの1年間、スポーツ推進計画を担当させていただきますので、よろしくお願いいたします。

内田課長 続きます。各委員から自己紹介をお願いしたいと思います。一言で構いませんので着座のままで構いませんので、中川委員から、お手元の資料1、名簿がございますので、その順番で御挨拶いただければと思います。よろしくお願いいたします。

中川委員 皆さんを代表して、委嘱状を教育長のほうから頂きましたが、公益財団法人小金井市体育協会の会長を仰せつかっております中川です。よろしくお願いいたします。

服部委員 服部でございます。NPO法人の黄金井倶楽部で理事をさせていただいております。よろしくお願いいたします。

本橋委員 本橋と申します。小金井市スポーツ推進委員協議会から来ました。

よろしくお願ひします。

樋田委員            樋田です。小金井市総合体育館と栗山公園健康運動センターの指定管理者の館長をしています。よろしくお願ひします。

檀原委員            小金井市小・中学校校長会のほうから来させていただいています前原小学校の校長、檀原延和です。私自身も日頃スポーツに親しんでいるものですから、今コロナでできなくて非常に残念なんです、この会で少しでもお力になれたらなと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

野川委員            順天堂大学の国際教養学部のほうの客員教授をしております野川と申します。現在は公益財団法人日本スポーツクラブ協会の理事長も兼務しております。

一言だけちょっと言いたいんですけども、私、東京学芸大学の卒業生でございまして、ちょうど今頃が札幌オリンピックの時期とほとんど一緒なんですよね。50年前の話になって大変恐縮でございます。よろしくお願ひいたします。

田中委員            田中幸夫です。すぐそばにあります東京農工大学のほうでスポーツ健康科学の授業を担当しております。前回のスポーツ推進計画の作成にも携わりまして、今回またお話をいただいて、微力ながらこの計画を推進してまいりたいと思います。よろしくお願ひいたします。

長谷川委員          長谷川と申します。このたびは選任いただきましてありがとうございます。

私は、サッカーと、スポーツかどうか分からないですけども、阿波踊りみたいなものを通して小金井市のコミュニティーで関わらせてもらっています。サッカーのほうではサッカー協会でも理事も担当しております、何で理事をやったのかというと、サッカー環境をはじめ、小金井市のスポーツ環境は、言ってしまうとあまりよくなくて、小金井離れが起きているというところに少し危機感を感じていて、何か貢献できないかというところで始めさせていただきました。今回、こういう機会をいただきましたので、何かしら

貢献できるかなと思っています。よろしくお願いいたします。

木藤委員 木藤です。よろしくお願いいたします。このたびは選任いただきありがとうございます。

私は、子供がスポーツ少年団で野球をしているんですが、今、子供たちは学校で運動を禁止されたり、週末の学校の校庭利用が禁止されている状況です。普通に上水公園に遊びに行っても、管理人さんに遊ばせてくださいという一言声をかけないと遊べない状況です。それが結構、子供たちにとっては外で遊びにくい環境かなという感じもありまして、今回こういう選任のお便りが届きまして、もし少しでもお力になれたらいいなと思って手を挙げさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

佐藤委員 佐藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

小金井市には約2年半しか住んでいないんですけども、今、学生団体に所属しておりまして、大学のほうでパラスポーツを軸としたイベントなどを行っている活動しております。ですので、微力にはなってしまうんですけども、学生視点から貢献できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

内田課長 ありがとうございます。

それでは、資料をここで確認させていただきたいと思います。前後しましたが、資料1として、お手元に小金井市スポーツ推進審議会委員名簿（第1期）ということで、皆様方のお名前、間違いございませんでしょうか。

資料2が本日の座席表になっております。

資料3、スポーツ推進審議会条例、こちらの設置の根拠になります。

資料4、これは後ほど御説明させていただく資料になりますが、スポーツ行政の概要ということでまとめさせていただいております。

資料5-1、スポーツ推進審議会スケジュール（予定）、5-2、同じく目次構成（案）、5-3、小金井市スポーツに関する意識調査調査票（案）、5-4、第2次小金井市スポーツ推進計画市民アンケートについて。

次が資料6、令和4年度スポーツ推進審議会スケジュール(案)。  
以上を本日お配りさせていただいております。

あと、現行の小金井市スポーツ推進計画、ピンク色の冊子になっております。

お手元がない場合、挙手をしていただければと思いますが、大丈夫ですね。ありがとうございます。

では、ここからは生涯学習部長のほうで座長を務めさせていただきます、会議を進めさせていただきます。

藤本部長

それでは、会長が選出されるまでの間、私が座長を務めさせていただきます。よろしくお願ひします。着座にて失礼いたします。

議事に入ります前に、議事録の作成方法について確認をさせていただきます。

市の会議につきましては、小金井市市民参加条例第6条の規定によりまして、原則公開となっております。また、同条例の施行規則第5条には、会議録の作成方法としまして、1つ目、全文記録、2つ目、発言者の発言内容ごとの要点記録、3つ目、会議内容の要点記録、この3つの中から選択することと規定されております。

事務局といたしましては、全文記録で作成をしたいと考えておりますが、御異議ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。全文記録ということで、発言内容が全て記録されるということになります。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

藤本部長

御異議なしということで、そのようにさせていただきます。

なお、議事録作成の都合上、お手数ですが、これから御発言の前にお名前をおっしゃっていただいから、御発言のほうをお願いしたいと思ひます。

それでは、議事に移らせていただきます。

議題1、正副会長の互選を行います。

初めに、会長の互選を行いたいと思ひます。

会長につきましては、スポーツ推進審議会条例第5条の規定により、委員の互選によって定めるとされております。指名推選の方法で行いたいと思ひますが、これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

藤本部長 異議なしと認めます。  
どなたか御推薦いただけますでしょうか。  
それでは、中川委員、どうぞ。

中川委員 今お言葉にもありましたが、現行の小金井市スポーツ推進に携わられ、現行、図書館協議会の会長職も御経験されている田中委員にお願いできればと皆さんに提案させて頂きたいと思います。

藤本部長 中川委員から田中委員を御推薦いただきました。  
御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

藤本部長 異議なしと認めます。  
これより先の議事進行につきましては、田中委員にお願いしたい  
と思います。  
田中委員、会長席のほうにお移りいただき、一言御挨拶をお願い  
いたします。  
私の職務はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。

田中会長 ただいま御推薦いただきまして、会長職ということでお受けいた  
します田中幸夫といたします。よろしく願いいたします。  
不慣れな点も多いと思いますけれども、皆さんの活発な御意見を  
いただいて、よりよい推進計画をつくっていきたいと思いますので、  
皆さん、忌憚のない意見を出していただきたいと思いますので、御  
協力よろしく願いします。  
それでは、副会長の互選を行いたいと思いますけれども、副会長  
につきましては、スポーツ推進審議会条例第5条の規定によって、  
委員の互選によって定めるとされていますので、指名推薦の方法で  
行いたいと思いますけれども、これに御異議ございませんでしょ  
うか。

(「異議なし」の声あり)

田中会長            それでは、異議なしと認めますので、どなたか御推薦いただければと思います。

服部委員、どうぞ。

服部委員            黄金井倶楽部の服部でございます。私の右隣にいらっしゃいます本橋委員を副会長に推薦させていただきたいと思います。私は黄金井倶楽部の担当である一方で、実は小金井市のテニス連盟にも属しております。本橋さんにはテニスのほうでもいろいろとお世話になっております。そのお人柄は十分に存じております。また、本橋委員は、長年にわたって体育指導員、あるいはスポーツ推進委員として小金井のスポーツ振興に御尽力されているということです。最もふさわしい方ではないかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

田中会長            服部委員のほうから本橋委員を御推薦いただきましたけれども、御異議ございますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

田中会長            異議なしと認めますので、本橋委員を副会長ということでお認めしたいと思います。

では、こちらの私の右隣で。

一言御挨拶を。

本橋副会長            スポーツ推進委員をやっております本橋と申します。よろしく願いします。

大変なお役を仰せつかり、ただいますごく緊張しております。スポーツ推進委員の定例会とはまた違った感じだと思っております。皆様の御協力をいただき務めてまいりたいと思います。今後とも御指導のほどよろしく願いします。

田中会長            ありがとうございました。

それでは、議事に沿って進めてまいりたいと思います。

議題（２）の小金井市のスポーツ行政の概要及びスポーツ推進審議会についてということで、事務局のほうから御説明いただきたいと思います。

内田課長

先ほども申しましたが、本日第１回目ということになりますので、今後いろいろの中で御議論いただくことになってくると考えております。基礎となるというとちょっとおこがましいんですけども、小金井市のスポーツ行政の概要と、スポーツ推進審議会、この会議について若干の説明をさせていただきたいと思います。

資料４、小金井市スポーツ行政の概要を御覧ください。

まず、市のスポーツ施設について御説明申し上げます。１ページを御覧ください。こちらは小金井市公共施設等総合管理計画からの抜粋となっております。現在、小金井市には総合体育館、栗山公園健康運動センター、上水公園運動施設、テニスコート場、あと一中クラブハウス等がございます。場所に関しましては、ページの施設位置図で御確認いただければと思います。テニスコート場に関しましては、小平市上水南町でございます。

２ページを御覧ください。③現状や課題です。まず、施設の配置状況についてなんですけど、市域の中央から北寄りに集中している傾向が指摘されてございます。それと、屋内施設である総合体育館、栗山公園健康運動センターは築３０年がたっておりまして、大規模修繕の時期に差しかかっていることが挙げられております。

この点については、平成３０年度に両施設の長期修繕計画を作成いたしまして、令和元年度、令和２年度に総合体育館で第１期、第２期の大規模修繕、今年度に関しましては栗山公園健康運動センターで大規模修繕を実施しております。来年度は再度、総合体育館の第３期工事を実施する予定としております。なお、複数年度にわたります大規模修繕に関しましては、来年度をもって一段落する予定としております。

管理運営面に関しましては、総合体育館と栗山公園健康運動センターは平成２１年度から指定管理者制度を導入しておりまして、現在、本日もお越しいただきましたが、東京アスレティッククラブ、ＦＣ東京、東京ガスの共同事業体に運営していただいております。上水公園運動施設とテニスコート場については、シルバー人材セン

ターに管理委託をさせていただきます。

続きまして、3ページから28ページまでは事務報告書からの抜粋になります。3ページから12ページが平成30年度、13ページから22ページが令和元年度、23ページから28ページが令和2年度となりますが、平成30年度を基に事務について御説明させていただきます。

まず、スポーツ推進委員の活動です。3ページから5ページを御覧いただきたいんですが、ここで一言触れさせていただきたいのはスポーツ推進委員なんですけれども、スポーツ基本法の第32条におきまして、当該市町村におけるスポーツの推進のため、教育委員会規則の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとするとき、教育委員会が委嘱させていただいております。スポーツ推進委員の皆さんには、小金井市では主に小学校におけるドッジビーの出前教室ですとか、市主催のスポーツイベントへの御協力、あるいは研修会に参加をしていただいております。

5ページから8ページを御覧ください。5ページ、市民体育祭、6ページが各種大会になります。7ページ、レクリエーション活動、スポーツ教室、8ページが、東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業になります。これらは市の直営、もしくは主に体育協会、もしくは総合型地域スポーツクラブの黄金井倶楽部さんに委託させていただいております。

お分かりの方も大勢いらっしゃると思うんですが、公益財団法人小金井市体育協会に関しましては、2021年現在34種目の連盟、それからスポーツ少年団が所属されている団体になります。また、黄金井倶楽部さん、総合型地域スポーツクラブですけれども、こちらは生涯スポーツ社会の実現を掲げまして、平成7年から文部科学省が実施するスポーツ振興施策の1つであるスポーツ振興基本計画において、全国各市町村に少なくとも1つの総合型地域スポーツクラブを置くとされるものです。幅広い世代の人々が各自の興味関心、競技レベルに合わせて、様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブで、地域住民により自主的、主体的に運営されるものです。小金井市では、平成18年4月にNPO法

人黄金井倶楽部が設立されております。この2つの団体に関しましては、市から補助金を交付させていただいております。

続きまして、8ページ、スポーツ開放・学校開放です。現在、市内に14の市立小中学校がございます。このうち緑小学校、前原小学校、本町小学校、第一中学校の4校に御協力いただきまして、ここに記載している曜日に施設を開放させていただきまして、市民に各種目の個人利用をさせていただいております。

9ページを御覧ください。第一中学校に関しましては、先ほどの個人利用以外にもクラブハウスを市民開放させていただいております。その利用状況になっております。

続きまして、10ページを御覧ください。現在、第一中学校と南中学校ではテニスコート場を開放させていただいております。南中学校中庭のテニスコート夜間開放、一番上の段ですが、こちらはその利用状況になっておりまして、第一中学校のテニスコートに関しましては、次のページの11ページの下段、上水公園運動施設等というところがございますが、こちらに利用状況を記載してございます。

次に、10ページ、エの土曜スポーツクラブですが、こちらは小中学生を対象としまして、週休5日制を契機として、土曜日に総合体育館において記載している種目のスポーツクラブを実施しております。

次のオの民間体育施設の開放です。平成30年度になりますが、前原町にあります専門学校、総合学院テクノスカレッジと協定を締結いたしまして、平成30年12月以降、体育館を月に2日、市民開放させていただいております。

次、カのプール無料開放ですが、土曜日の午前中に総合体育館と栗山公園健康運動センターのプールを中学生以下を対象として無料で開放しているものです。

続きまして、11ページ、12ページ、こちらに関しましては、市内の体育施設の利用人数、それから開館日数をまとめたものとなります。

以上が平成30年度の主な事業の説明になります。

令和元年度、2年度についての詳細も資料を御覧いただければと思います。

なお、令和元年度以降、新型コロナウイルスの影響によりまして、

施設運営並びに事業については、社会状況を勘案しながら実施しているような状況となっております。

続きまして、29ページを御覧ください。東京2020大会に關しましての報告です。小金井市からは、フェンシング男子のサーブル個人・団体の吉田選手、陸上女子5,000・10,000メートルの廣中選手、マラソン女子の鈴木選手、車椅子バスケットボール女子の小田島選手、この4名のゆかりの選手が出場されております。

また、聖火リレーは公道走行中止となりましたけれども、市内を自転車競技のロードが走行しまして、10月31日には大会の報告会を開催させていただいております。

以上が、大まかではございますが、スポーツ行政の概要になります。

引き続きまして、審議会について若干説明させていただきます。

先ほど生涯学習部長のほうからも御挨拶の中で一言触れさせていただいておりますけれども、スポーツ行政の課題といたしましては、第2次の小金井市スポーツ推進計画の策定ですとか、あるいは今見てきたスポーツ施設、あるいはその使用料金の在り方、スポーツ事業の在り方、こういったものが挙げられます。また、スポーツを通じた健康増進を図ることによりまして、健康長寿社会の実現を目指すことが重要となっており、さらなるスポーツの推進が求められます。

そこで、これらの課題についてより広く、専門的な見地から協議を進めるために、スポーツ基本法31条、市町村に地方スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、条例で定めるところにより、審議会その他の法律的な機関を置くことができるとされるところ、小金井市スポーツ推進審議会条例を設定させていただきまして、審議会を設置させていただきました。

資料3を御覧ください。小金井市スポーツ推進審議会条例になります。第2条、所掌事項ですが、スポーツ基本法第35条、教育委員会の学校における体育を除くスポーツに係る補助金の交付について意見を聞くこととされますので、まず、所掌としては、小金井市から交付している補助金について御意見を伺うということになります。また、そのほかスポーツ推進計画に関する事とすとか、スポーツの推進に関する重要事項の調査審議を皆様に行っていた

だくこととなります。

第3条を御覧ください。委員会の組織ですが、社会体育関係者4人以内、学校教育関係者1人以内、学識経験者2人以内、公募による市民3人以内で、教育委員会が委嘱する10人以内の委員によるものとさせていただきます。

第4条を御覧いただきたいのですが、委員の任期です。任期は2年としまして、再任は妨げない。原則として連続3期を超えないものとさせていただきます。

次のページ、第8条なんですが、会議に関しましては原則公開とします。通常、審議会は傍聴なども入っていただくんですが、本日の会議に関しても会議録は公開させていただきますが、本日に関しましては、新型コロナウイルスの対策から傍聴はお断りさせていただいている次第です。

その他、詳細は資料を御覧いただきたいと思います。

なお、令和4年度は、第2期スポーツ推進計画の策定を御審議いただきたいことがありますので、6回の開催を予定しております。日程については後ほど御協議させていただきたいと思います。

以上、大変雑駁ではございますが、小金井市のスポーツ行政の概要及びスポーツ推進審議会について説明させていただきました。

田中会長

御説明ありがとうございます。

ただいまの御説明に対して、何か御質問、御意見等がありましたら、挙手をして、お名前を言った上で御発言をお願いしたいと思いますけれども、何かございますでしょうか。

長谷川委員

御説明ありがとうございました。

今日の内容とかは公開されるとおっしゃっていましたが、その公開先というのはどこになるんですか。

内田課長

本日に関しましては、会議録、議事録ができましたら、ホームページ等で公開させていただくという形になります。

長谷川委員

市民も見られる場所に公開されると。

内田課長

はい。公開していく形になります。

長谷川委員

了解しました。

あともう一つ、すみません。このスポーツの実施状況、数値も入っていてすごく分かりやすかったですけれども、実績は何となく分かったんですけれども、目標値みたいなのはあるのでしょうか。

内田課長

個々の目標値というところではないんですが、大きなところで、現行のスポーツ推進計画、お手元にお配りさせていただいているものの5ページを御覧いただきたいんですけれども、この後、説明があるんですけれども、ここに書いているスポーツ実施率というもの、これは週1回以上スポーツを実施された方のパーセンテージになりますが、前回、スポーツ推進計画をつくりましたところ、59.4%というのを、この計画が終わる年度には、これを65%に持っていこうという目標を掲げております。

長谷川委員

分かりました。何かいろいろ施設を使われていたりとか、いろいろな活動が行われているので、小金井市として順調なのか、いい状況なのかというのがちょっと分からなかったのを御質問させていただいたんですけれども、スポーツ全体を普及してスポーツ実施率を図っていくことで、何となくいい状態というふうに判断していくという形でしょうか。

内田課長

この後具体的な説明はあるんですけれども、スポーツ推進計画をつくっていく中で、来年度、アンケートを取っていくとかいうところで、この実施率というのが出てくると。ここから減っているのか、増えているのか。ただ、今回、スポーツ推進計画を2年間延伸させていただいているという実情があるんですけれども、コロナの関係でみんな家の中に引き籠もってしまっていたりというところで、どれだけ正確な数字が出てくるのかということも非常に危ぶんではいるんですが、そこをどうやって外に出していくのか、皆さん、家の中に籠もっている、そういった方にスポーツをどんどん振興させていくというところで、逆にぜひ皆様方の御意見も伺っていききたいなというところで、この実施率を上げるにはどうすればいいのかといったところの御審議をこれからもしていただきたいと考えています。

長谷川委員 分かりました。ありがとうございます。

田中会長 そのほか何かございますでしょうか。  
服部委員。

服部委員 今回示していただいたいろいろな参加人数ですとか、こういったデータは平成30年度ということだと思うんですけれども、その後、コロナになりまして、利用実態はかなり変わっていると思うんです。今後どうなるか分かりませんが、今コロナとうまく付き合っていく中で、先ほど目標値という話もありましたが、それをどういうふう考えていくのかということについて、やり方、目標値の設定の仕方というのは何か今、考えていることがあるんでしょうか。

内田課長 取りあえずは、今回、成果目標として一旦、現行計画でどれだけのことができたのかというのは、ちゃんと検証しないといけないところもございますので、まずはここの数値を出したいと思っています。その上で、新たにどういう指標をやっていけばいいのか、そこはこれから考えていかななくてはいけないところだと思っております。現在のところは、実施率、ここ以外は特に持っていないところです。

服部委員 ありがとうございます。

田中会長 そのほかございますでしょうか。

野川委員 御質問というのは、多分同じだと思うんですけれども、スポーツ参加の定義はどのようされていたのかという点が1点ございます。  
あともう1点は、今後のことになってしまうんですけれども、ターゲットを明確に定めるのかどうか。その2点をお聞きしたいと思います。重点ターゲットという意味です。

内田課長 まず、1点目、スポーツ参加の定義ということでよろしいですね。

野川委員           はい。

内田課長           すみません。趣旨が間違っていたら申し訳ないんですが、推進計画の21ページ以降にスポーツに関する意識調査、これが前回のアンケートになるんですけれども、こちらに関しては、21ページの調査方法というところを御覧いただきたいんですが、調査対象としては市内在住の18歳以上の男女個別というところで、無作為抽出させていただく中でアンケートを実施させていただいているんですが、その中で、例えば27ページを見ていただくと、スポーツ種目ということで、こちらがいろいろと示させていただく中で回答をいただいているということでございまして、現在のターゲットという、無作為でそういう形になるんですが。

                    今後のターゲットに関しましては、それはこれから皆様方と御審議させていただこうと思っています。

藤本部長           補足しますと、定量的なものを設定していくのもかなり難しいというふうには考えています。その施設で参加人数だとか、いろいろな大会でもそういうのを取るの簡単ですが、同じ方とか、偏った数値になってしまうというところがあり、その数をどのぐらいに設定するのかという、全体を通したアンケートだとか、そういうところではかっていくしかないと考えています。そこら辺をどういうふうにやったらいいのかということも含めまして、審議会の委員の皆様とこれから考えていきたいと思っています。

                    ターゲットにつきましても、どこのということではなくて、広く、要するに若年層から高齢の方まで、全てにおいてスポーツをどんどん行っていただくということがターゲットだと思っていますので、その中でどこが重点というところは確かにあると思いますけれども、そういうことも含めて、全体の中で施策として考えていければと思っています。

野川委員           会長、よろしいですか。

                    私が質問したスポーツ参加の定義というのは、国のスポーツ庁のほうで出している定義があるということと、それから東京都と比べた場合に、こちらで5ページ目を書いてあるんですけれども、東京都のスポーツ振興審議会のほうで定義したものがありますので、そ

れとずれていると、比較がちょっと難しいだろうということがありますので、それは確認されたほうがいいんじゃないかなというのが私からの意見でございます。

以上です。

内田課長 御意見ありがとうございます。確認させていただいて、今、野川先生から御意見いただいたところに関しては、場合によって皆様方に情報共有させていただきたいと思います。

野川委員 蛇足でよろしいですか。

田中会長 どうぞ。

野川委員 東京都のスポーツ振興審議会のほうでも、スポーツ参加、それからスポーツ実施率というので非常に議論が揉めたんです。それで、ウォーキングとか、布団の上げ下ろしまでスポーツにするのかというようにいろいろな意見があったので、これまでのようにスポーツ種目を全部出して、どのぐらい参加したのかというよりも、もっと広く、いい悪いは別にして取ったというところがありましたので、それを踏襲するのか、いや、もうちょっと狭めていくのかというのは、これはぜひ議論したほうがいいんじゃないかなと思ったりいたします。

すみません。蛇足でございます。

田中会長 ありがとうございます。

そのほか何かございますでしょうか。

野川先生のほうからターゲットという話が出ましたけれども、前の推進計画では、各ライフステージに従って、子供から成人、高齢者及び障害のある方々のスポーツ推進をするというふうに幅広く定義をしてあって、そういうターゲットは変わらないんじゃないかなと思います。

以上です。

では、続きまして、次の議題に移りたいと思いますけれども、よろしいですね。

小金井市スポーツ推進計画の策定についてということで、事務局

のほうから説明をしていただきたいと思います。

小平主査

改めまして、スポーツ振興計画を担当します小平と申します。よろしくお願ひいたします。

また、皆様から向かって右側隣に座っておりますのが、今後、計画作成の御支援をいただくランドブレイン株式会社様でございます。

それでは、小金井市スポーツ推進計画の策定について御説明いたします。

お配りしておりますピンク色の冊子なんですけれども、まず、こちらが現行の小金井市スポーツ推進計画となります。こちらは先ほど御説明しましたように、スポーツ基本法に基づき、国のスポーツ基本計画や東京都のスポーツ振興計画等を参考に、平成28年度に策定されました。計画策定当時は、既に東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が決定しておりまして、スポーツに対する市民意識が高まっていて、今まで以上に積極的にスポーツを推進していく機運が高まっておりました。このことから、小金井市でもスポーツへの取組について、市の目標や方針を定めたスポーツ推進計画を作成する運びとなりました。

当初設定した計画年度は平成28年度から令和2年度まででした。しかしながら、令和2年度に開催される予定であった東京2020大会が新型コロナの関係で1年延期となったこと等から、大会の開催を経て市民がスポーツへの関心等を計画に反映することができなくなったため、2年間延伸をしまして、現行計画を令和4年度までの計画と位置づけております。

来年の4月以降の新たなる第2次小金井市スポーツ推進計画につきましては、令和5年度から令和12年度の8年間の計画となります。

令和12年度までとした理由につきましては、小金井市の最上位計画である基本構想の最終年度に合わせた形となります。1年間、推進審議会の皆様とランドブレイン様のお力を借りて計画策定に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、詳細な説明をさせていただきます。資料5-1を御覧ください。こちらは、第2次小金井市スポーツ推進計画の策定までのスケジュールとなります。後ほど詳細に御説明いたしますが、本

日、市民アンケート調査（案）を御提案いたします。この市民アンケート調査は、スポーツ推進計画を策定するための今後の資料とさせていただきます。今年の4月頃には、審議会を通しまして市民アンケート内容を決定したいと思っております。審議会後、市民向けにアンケートの送付を行います。その後、6月頃、アンケート結果の報告を行わせていただきます。第2次計画に向けた課題の抽出や改定のポイントの整理を行います。続きまして、7月頃、計画の基本となる理念、目標等を設定いたします。続きまして、8月頃、設定した目標を達成するための具体的な施策の検討を行います。10月頃には第2次計画（案）を取りまとめまして、11月、12月頃には、市民等の意見を聞くパブリックコメントを実施いたします。年明け2月頃にパブリックコメントの結果を踏まえて、計画書の最終案を策定いたします。

スケジュールについて、何か御質問等がございますでしょうか。

続きまして、資料5-2を御覧ください。こちらは、現計画や他自治体の計画などを参考に、ランドブレイン様に作成していただきました目次構成となります。先ほどのスケジュールと併せて御覧ください。

まず、第1章として、計画の概要を述べます。例えば計画策定の趣旨及び位置づけ、計画の期間であったり、スポーツ推進の意義を述べていきます。

続きまして、第2章では、計画の策定に当たっての現行計画の評価であったり、現在のスポーツ環境の動き、小金井市の状況を述べまして、改定のポイントを整理いたします。

続きまして、第3章では、第2次計画を通して目指すべき目標を述べます。基本理念を定めまして、それに基づいた基本的な目標を設定し、数値等の成果目標を述べていきます。

第4章では、第3章の目標を達成するための具体的な施策を記していきます。こちらは今、内容がないんですが、こちらに関しては一般的なものが書いてあります。

第5章では、第2次計画を策定していくに当たって、関連団体の位置づけ、計画の管理体制について述べます。

最後は資料となります。

なお、今御提案させていただきました内容は目次の案となりますので、今後、審議会で議論させていただければと存じます。

では、以上のところまでで何か御質問はございますでしょうか。

続きまして、資料5-3を御覧ください。こちらは、先ほどお伝えしました市民アンケート調査（案）となります。資料5-2のような計画を策定していく上で、基礎資料となるのがこの市民アンケートです。市民アンケートは、1,000人程度を対象に行わせていただきます。

市民アンケートについては、ランドブレイン様のほうから御説明させていただきます。

ランドブレイン株式会社 替わりまして、ランドブレイン、私、和田のほうから、調査票の簡単な概要について御説明させていただきます。

アンケート調査につきましては、今のところ、大きく3つの視点を持って内容を検討しております。

視点の1つ目でございますが、これまでの現行計画でもアンケートを取っておりますので、同じ項目を踏襲することで経年的な変化を見るという視点が1つ目です。

2点目につきましては、国ですとか都のほうでも調査を行っておりますので、そういった調査項目を入れることで小金井市との比較をしたいという観点が2つ目です。

3つ目の視点につきましては、新型コロナウイルスによる影響ですとか、東京オリパラの後の変化というものを見たいという3つの視点を持って、この調査票は考えております。

項目につきましては、今、1ページ目に、黒帯で1、「あなたご自身についておたずねします」というものがございますが、これを含め大きく7つの項目で調査票は構成しております。

1つずつ御説明いたしますと、1ページ目の一番上の「1. あなたご自身についておたずねします」、こちらは回答者の属性、回答される方がどのような人であるかというものを把握するために設けている項目でございます。

めくっていただきまして、2ページ目、中段頃、2項目めということで、こちらは回答者のスポーツの実施状況。先ほどの現行計画で実施率を図るところがございましたが、基本的には2番目の御回答をもって、回答者のスポーツ実施状況を把握していくという設問に、こちらはなっております。先ほど野川委員から御指摘いただきましたように、2ページ目、問9の中で項目などございます

が、こちらの項目を何とすべきかなどは、スポーツの定義の仕方など、御審議いただきながら設定する必要があるのかなというふうに受け止めております。

次に、4ページを御覧ください。2番は実施状況でしたが、次、大項目3です。運動・スポーツに対する考え方ということで、先ほどの実施状況は、あくまで回答された方の実施状況が分かるというところですが、こちらの3番で、その背景にある回答者のスポーツに対する考え方というものを、奥に秘めた思いというものを把握したいというところから、こちら3番は設定しております。

続きまして、5ページ目、大項目4、小金井市のスポーツ振興の取組みについて。こちらにつきましては、先ほどスポーツ行政の概要などでも御説明しておりますスポーツ施設ですとか、6ページにまたがりまして、学校体育施設の開放、そのほかスポーツ事業というものに対する回答者の方がどれだけ御存じか、認知度と、実際にどれほど利用しているか、利用したいかという意向というものを把握する設問として設けております。

次に、7ページ下段にございます大項目5、運動・スポーツに関する情報収集。こちらは現行計画でも調査している項目ですが、運動・スポーツに関する情報収集をどのように行っているかを把握する設問でございます。

続きまして、8ページを御覧ください。大項目6番、こちらが東京2020オリンピック・パラリンピック後の変化というものを伺いたいという意図で設定している項目です。

最後、7つ目、こちらは小金井市の今後のスポーツ振興への期待や要望ということで、力を入れてもらいたいことなどを把握する設問を設定しております。

足早になってしまいましたが、資料5-3、アンケート調査票については、現時点でこういった内容を検討しているところです。

小平主査

資料5-4を御覧ください。ただいま御提案させていただきましたアンケート案につきましては、本日、お時間の関係もありますので、先ほどの目次の構成等を踏まえて一旦お持ち帰りいただきまして、御意見等がある場合は、3月末までに、この資料5-4をもって御意見をいただくと幸いです。いただいた御意見等を踏まえまして、次回の審議会にて改めてアンケート調査内容を御提案

させていただきます。よろしくお願いいたします。

スポーツ推進計画につきましては、以上となります。

田中会長           ただいまの説明に対しまして、御質問、御意見がございましたら、お名前を言った上で発言をお願いします。

アンケートをこのスケジュール案では4月ぐらいに行うということで、どのような方法でアンケートを行う予定でしょうか。これ、結構な量ですよ。何か考えがございませうでしょうか。

小平主査           今現在、こちら行政のほうで想定しているところでは、無作為抽出でまずアンケートの対象者を決定いたします。その後は、メール等も考えたんですけども、郵送でアンケートを送付する予定でございませう。件数は、1,000件を対象に郵送する予定でございませう。また、この郵送方法につきましては、今後、支援業者とこれから詰めていく状況ですが、メール等も含めて検討はしたいと思っております。

田中会長           どのぐらい返ってきますかね。前回、これはいただいた資料だったんですけど、なかなか。

野川委員           一般的には郵送は30%いけばいいと思ひませうよ。

藤本部長           ほかのアンケート調査とかもあるんですけども、大体やはり4割ぐらいいけば高いほうなのかなど。

野川委員           4割行ったらすごひですよ、郵送で。

服部委員           平成29年度の推進計画の中に調査結果があるんですけども、このときは調査対象が2,000件になっているんですけども、これを1,000件に減らしたというのは、何か意味があるんでしうか。

小平主査           こちらは、郵送という形になっているので、費用が発生しております。そういうところで、費用対効果というところがございませう。前回、調査だけで予算を組ませてもらひて、計画は自前でつく

らせていただきました。今回は調査と計画策定を合わせて支援業者からの御支援をいただくことになっております。前回、回答率が31.8%だったということもございまして、こちらに関しては費用との比較で必要数を確保するためのぎりぎりのラインが、実は1,000通というところで、1,000通の設定をさせていただきました。

以上です。

服部委員                    ありがとうございます。

野川委員                    人生150歳時代というようなお話があったんですけど、団塊世代がもう後期高齢者になっていくということで、これから8年、12年ということであれば、80歳の人とかに質問しないといろんなことが出てこないと思うのが1点、それからもう一点は、小金井市の疾病といいますか、病人、あるいは病気持ちの種類とかパーセントというのはどういうふうになっているのかということが分からないと、どんな運動、どんなスポーツを勧めたら健康になるかという、一番最初に教育長がおっしゃっていたのとちょっとずれるんじゃないかと思うんですけど、いかがでしょうか。

内田課長                    おっしゃられるとおりでと思いますので、その点は関係各課、私どものほうでも少し調べたいと思います。

野川委員                    多分、疾病の種類を聞いたりするというようなスポーツに関する調査はどこもやってないので、非常に新しい視点になるかもしれないという意見でございます。

内田課長                    ありがとうございます。

木藤委員                    18歳以上を対象にされているんですが、小中高校生の意見などは聞く予定とかはあるんでしょうか。

小平主査                    実は小学校向けのアンケートというのは、案としては上がっております。ただ、調べてみると、いろいろと小中学校自体で国や都で調査を行っております。そういった調査結果がかなりいろいろ出

てきておりますので、それをまたアンケートで聞いてしまうところ  
うところがございまして、なおかつ、今、コロナ禍の影響があっ  
て、子供にアンケートをした場合に、もしかしたらコロナの影響を  
受けてのアンケート結果が出てきてしまうということも考えられ  
たので、今現在は、学校のほうの子供たちに対してはアンケート  
する予定はないんですけれども、今後、審議会の中で子供たち  
の生の意見を聞いたほうがいいのかという御意見が出てきた  
場合は、学校とも調整しながら進めていきたいと思っております。

以上です。

長谷川委員

ちょっと私、個人的にIT系の会社に勤めているもので、こ  
ういう方法にすごく違和感を感じるんですけれども、先ほど費用  
対効果という話をされているからこそ、紙をやめてインターネット  
を使ってアンケートを募集すればコストかからないという考え  
方もあるんじゃないかなと思うんですけれども、効率性の部分  
だとか、その回収率というふうに考えても、やっぱり紙じゃ  
なくてインターネットを使うほうが効果的なんじゃないかな  
というの、私の意見です。

あと、せっかくランドブレインさんにも関わっていただい  
ているのでお伺いしたいんですけど、客観的に多分見られて  
いるんだと思うんですけれども、小金井市のこの目標の立  
て方とか、こういうアンケートの取り方というのは、他市  
とか他の地域と比べてどうなんでしょうか。遅れていると  
感じられているのか、それとも小金井市に合わせてやっ  
ていただいているのかというところで、コメントをいただ  
けるとありがたいと思います。

ランドブレイン株式会社 それでは、まず、ほかの都市さんと比較  
した中でのアンケートの認識について回答したいと思います  
が、先ほど申し上げた3つの視点の中に、国や都の調査結  
果との比較ができるようにという視点を説明しております  
が、当然、現行計画の調査項目も生かさなくては  
いけない部分はあると思いますが、そうした国や都の調  
査を使って比較することで、比較したほうがいい項目  
というものも入れ込んだ調査票を今設計しております  
ので、今作っている調査票について、ほかと、今と比  
べて遅れているものにはなっていないと、まず思っ  
ております。

あと、関連して、先ほどインターネット、そういったところの回

答の仕方につきましては、今、全く盛り込んでいない内容になっておりますが、そういった回答の仕方については、例えば紙もつけますが、ウェブでも回答できますというやり方をするのですとか、あと、紙は紙でやりつつ、ホームページに回答ページというものを設けて、そちらを使つての回答もできますよというやり方をする場合もあります。今いただいた御意見なども参考にして、我々も提案をしながら、そうしたウェブを組み合わせるといった回答形式も考えたいというふうには思っております。

長谷川委員        はい、分かりました。

ランドブレイン株式会社    せっかくなので私からも補足させていただければと思います。今、宮城県仙台市さん、奈良県田原本町さん、沖縄県さんでスポーツ推進計画をやらせていただいて、スポーツ庁の業務もやっているのですが、他市の状況等もかなり把握しているほうかなと思いますけど、まず目標の立て方で遅れているかどうかという話ですが、遅れているとは思いませんが、数として、今はもう少し指標を多く設定するケースが多いのかなということと、また、今の国の議論というと、今まで実施率というのは、間違いなく皆さん取ってきたんですけど、その実施率の取り方を週何回とかという回数だけじゃなくて、強度、どれくらい強くやっているかというところまで取るべきじゃないかという議論が、実際に国の第3次基本計画を立てる中で出てきていて、例えば仙台市さんとかだと、実際に週何回以上、何十分以上、汗をかく程度の運動する人が何割という取り方を今回から設けたりしています。だから、そういった流れがあるので、ぜひ小金井市さんもこれから議論の中で、こういったものも取り入れたほうがいいんじゃないか、いや、そこまでは要らないんじゃないかという御議論をされればいいのかかなと思っておりますし、その辺に対する事例の情報というのは逐次御提供させていただけたらと思っております。

長谷川委員        ありがとうございます。他地域とも比較というか、そういったところも加味されて作っていただいているというところが理解できましたし、逆に、もうちょっとこうしたらいいんじゃないかとか、小金井市の中でももう少し工夫できるんじゃないかみたいなどころ

がありましたら、教えていただけるとありがたいと思います。

田中会長

やはり今のひきこもりじゃないけど、コロナでみんな自宅にいて運動しなかったり、自宅の中でやっている人はしているわけですが、そういう中で、やはりホームページを使って回答できるというふうにしたほうが、結構みんな、パソコンで何かするとか、タブレットで何かをするというのに慣れてるから、郵送ですという、プラス、全市民に向けてオープンにして、ここから入って、運動状況とか生活状況を把握できたらすごくいいじゃないですか。そうすると、1,000の30%プラス、さらにいろんな方のデータが得られるんじゃないかなと思うんですけど、それを上手に宣伝して、生涯学習課のここに行くを入れるというふうにすれば、結構サンプルが集まるんじゃないかなという気がしますけども。

小平主査

ただいまの田中委員長からいただいたものに関しても、今後検討していきたいと思います。

ランドブレイン株式会社

コンサルからのお願いというか、我々もこういうケースによく出くわすので、ほかでどうしているかというところでいうと、スポーツに限らず、最近、行政計画をつくる上で皆さんの御意見をお聞きするのにウェブを使うというのはかなり増えてきていますが、ただ、そのときに、今回みたいに皆さんがどういう行動をされているかという傾向集団の調査であれば問題はないんですけど、例えば施策にダイレクトに関わってくる、こういうことをしてほしいみたいなものを問うアンケートをネットでやるのは少し危険性があります。というのも、1人で何票も入れてしまえるようになる、あるいはそれを制限するためにはかなり個人情報を入れていただかないと回答をいただけないような立てつけにするしかなくなってしまふので、動向を知る上で、ふだん、どうしていますかだったら、1人で何票も、5票、10票とか団体票を入れるような人はいないと思うんですけど、何か自分の考えを反映させたい、反映できるような調査にしたときにウェブでやってしまうと、我々が1人で10票、100票入れるかどうかというのを制限できなくなる可能性が高いので、その辺は少し注意しながらやらなければいけないです。というのは、決して否定するわけではないんですけど、注意喚

起として毎回させていただいているところです。

野川委員 多分、ホームページにURLを載っけて、そこから答えてくれというふうになるわけですね。そうすると、メールですから、出したほうのメールアドレスが出ちゃうわけで、個人情報という点は、個人情報保護をどうするのというのは、やはり少し大きな問題はあると思うんですね。先ほどおっしゃったように、1人で何回も出せるというのは、そういう場合にはそれほど多くはできないだろうと。だから、1人で100通も200通も出せないようなやり方になっているんだけど、個人情報ということで相手を特定できてしまって、それを誰がどういうふうに保存するかというのは、これは議論しないと困るかもしれません。

ランドブレイン株式会社 我々も実態として、何票も実際に入れる人がいるとは思ってないんですけど、ただ、そういうことができる状態で、調査結果にある程度制度としての限界、これだけ正しいものですよという限界はどうしても出てきてしまうと。それを言うためには、おっしゃるとおり、やっぱり個人情報を聞かないといけなくなるので、また今度は別の問題が出てくるという、あちらを立てればこちらが立たずみたいな、かなりテクニカルな話にはなり得るかなと。

小平主査 おっしゃるとおり、個人情報に関しましては、市の組織でも諮らないといけませんので、先ほどの野川委員のアドレスの関係もありますので、こちらは1回、支援業者さんと調整をさせていただければと存じます。

以上です。

田中会長 よく検討した上で、また俎上に上げていただければと思います。よろしく申し上げます。

そのほか、何かございますでしょうか。

中川委員 今、アンケートというようなことで、コロナの後というようなことで、アンケートは運動量だとか、そういうのをやっていますが、野川先生の団塊の世代というと、私の世代なんですが、要するに、自分たちは戦後ですから、食べて、親がいれば一緒にどこでも遊べ

たということで、自分も今、体育協会で、スポーツとしてはソフトボールをやっていますけれど、今どのくらいやっていますか、中身はどうですかというようなアンケートでいきますけれど、やる場所はどうか、施設はどうかということになると、オリンピックをやっている、スキーは滑って、回転だとか、そういうものだけかと思ったら、ハーフもある、何もある。若い方たちの競技の種類を、ないところでもこういうスポーツをやっているなんていうことになると、小さいお子さんから見ていて、どれだけ一緒に遊んであげられるか。格好いいスポーツを見ると、子供がついてくるというのは分かりますから。そうすると、そういうチャンスでいくとなると、こういう競技を全体的に広めていくにはどうしたらいいんだということになると、今いろいろ意見を聞いている中に、そういうやる場所だとかのことも広げていってあげないと、どこで取りかかるのか。やっぱり散歩だとかで、そういう施設が、パーセンテージが上がっていかないだろうということで。そういうところでは、自分は、もう半世紀以上、若いときは自分も動いていましたけれど。若い方がスポーツに来るときにはどうしたらいいんだろうというところには、どこかその辺も考えの中に入れて今度はやっていってあげてほしいというのが切なる願いになります。取り留めない意見なんですけれど、一言、思ったことを言わせていただきました。

【中川委員からの補足説明】

競技種目とその競技ができる施設、設備について、アンケートで現状を把握することで次の課題がみえてくることになるとは思いますが、楽しみたい競技種目、スポーツに対してプレーする人達の技量を上げるとかメンバーを増やす為には、定期の場所と時間で開催、練習等できる施設の確保が一つのポイントになると考えていて、出来る範囲のことで進めて頂き、それに沿った解決策を協議していけたらと考えています。

小平主査

今、中川委員がおっしゃっていたスポーツをする場所等につきましての質問項目に関しましては、アンケートの3ページの間10であったり、5ページの大項目4の部分に関しまして、市内のスポーツ施設についての認知だったり、利用したことがあるかといったような質問項目を設けておりますので、こちらのほうで場所についてのアンケートの項目を設定させていただいております。

以上です。

野川委員

もう一点よろしいですか。先ほど木藤委員のほうから出たように、子供がどのような仕事をやりたいかというのをなぜ聞かないの、多分あると思うんですよね。多分、檀原委員なんかもお困りになると思うんですけど、スケボーとか、スノボーとか、ああいうアーバンスポーツとか、エクストリームスポーツみたいな、子供たちに今すごい人気のある、学校運動部ではない種目、ああいうものに対する子供たちが非常に憧れたり、eスポーツ、あれはスポーツじゃないという方もいらっしゃるんだけど、eスポーツというのも入ってなかったりしたときに、これから何歳ぐらいまでのデータを取らないと、10年間の計画とか8年間の計画をどう立てるのは、ならないと思うんですよね。みんな嫌がるんですけども、葛飾区でも嫌がられたし、江東区ではあまり嫌がられなかったんですけど、ストリートスポーツですよ、ストリート系。あれをどうするかというのは、施設も必要になったり、騒音の問題があったり、いろんなマナーの問題で、取り上げるべきかどうかという、非常に頭を悩ませるんですけど、金メダルをいっぱい取っちゃっているし、ちょっとこれ、抵抗しにくいんじゃないかと思うんですけど、いかがでしょうか。

小平主査

先ほど野川委員がおっしゃった子供が何をしたいかという視点になると、子供に直接アンケートを取ったりというふうなことも手段としてはありますので、アンケート項目に入れるよりは、どちらかというところ、子供にダイレクトに聞いたほうがいろんな意見が出てくるのかなと思っておりますし、そこについては、別途、こちらは学校のほうと調整させていただかないといけないんですけども、子供、児童を対象にしたアンケートを実施というのは、検討に上げて也十分あり得ると思います。

野川委員

ちょっとよろしいでしょうか。アンケートの1ページ目のところに子供のことも書いてあるので、そのところに1項目か2項目入れるとデータを取れちゃう可能性があるということで、これからまた追々考えればいいんじゃないかと思うんですけど、いかがでしょうか。

小平主査 今、アンケートを無作為抽出で考えておりますので、お子さんがいらっしゃらない御家庭にもアンケートが行くので、そういった場合に、そのアンケートの回答対象外となってくるので、そこに関してはアンケートに入れるのが適切なのか、それとも別途、個別に調査したほうがいいのかというのは、少しこちら側でも議論をさせていただきたいと思っております。

以上です。

田中会長 何かそのほかございますか。佐藤委員、何かありませんか。若い意見。

佐藤委員 学生からで考えると、郵送というので、学生からすると見ることはあまりなくて、やっぱり SNS を活用した方法だったり、メールのほうがアンケートをする機会というのは多いかなと思うんですけど、この調査票、郵送以外に例えばイベントだったり、スポーツの大会などでアンケートを行うという方法はあったりするのでしょうか。

ランドブレイン株式会社 今回とは別に、よその経験とかも踏まえた御回答をさせていただきますと、例えば自治体さんで SNS、LINE を持っていたりとかする場合に、その LINE を使ってアンケートを取ったことなどもございます。あと、御意見いただいたように、そうしたアンケートを聞きたい方が集まる、今回ですとスポーツのイベントなどを使って聞くという経験もございますので、そういったものを組み合わせることは不可能ではないかなというふうに思います。

佐藤委員 ありがとうございます。

田中会長 いろいろ御意見あるみたいですが、このアンケートについて皆さんのほうから書いていただいて、こういうところを入れてほしい、こういうふうにしたほうがいいんじゃないかという意見は 3 月 31 日までに送ればよろしいですね。

小平主査 はい、お願いします。

田中会長

そのほか。

檀原委員

先ほど野川委員のほうから、学校のほうではという話が出ておりました。やはりこのオリンピック・パラリンピックがスタートして、かなり子供たちもスポーツとか競技に対する意識というのは、かなり変わってきたなど。ボッチャとか、ブラインドサッカーとか、今まで見たことのないようなスポーツを子供たちが目の当たりにして、かなり興味が広がっています。特にスケートボードというボードゲームについては、競技というか、本当に楽しむことを第一に立つところで、勝ち負けよりも楽しむことを大事にするみたいな意識もかなり変わってきています。

この小金井市のスポーツに関する意識調査というのを考える上では、やはりこれからそういったスポーツの主役になっていく子供たちのアンケートを取るということは、とても大事だと思います。ただ、小中学校長会の代表としましては、現場では今、様々な調査が日々行われていて、本校でも、いじめだとか、ICTに関する調査だとか、本当にそういうことでかなり時間が割かれていて、恐らく現場では、今度はスポーツかということで、いろいろな意見が出てくると思うんです。ですから、取り方については、かなり吟味をしないと現場は負担になったり、混乱することもあります。ただ、今後のことを考えるのであれば、子供たちには何のアンケートを取って、データとしてこっちは知りたいのかという狙いを明確にして、負担ができるだけないような形のものを実施できるといいのではないかなど。

今、1人1台のクロームブックが配られていますから、学校でもかなりグーグルとかのそういった簡単にアンケートを作れるものでアンケート項目を作って取るやり方もできています。個人情報の観点もありますけども、取る情報の中身によっては、子供たちがどんなスポーツに、運動とかに興味を持っているか。また、eスポーツについては、今度のパリオリンピック等では入ってくるということも言われていますので、そうなると、そういったものも、もう時代を先読みというか、もう既にそういう時代になってきていますから、そういったものも、もしかすればアンケートを取るということも、必要なかどうかは分かりませんが、検討する必要がある

かなと思っています。

そういった意味で、狙いと学校現場の負担をうまく考慮しながら検討していただけたらいいなと思っています。

以上です。

田中会長            ありがとうございます。  
                          そのほか。

小平主査            先ほど説明が不足してしまいましたが、資料5-4につきましては、この審議会の後、メールをお送りさせていただきますので、メールのほうで御回答いただければ幸いです。  
                          以上です。

田中会長            この件に関しましては、よろしいでしょうか。  
                          では続きまして、令和4年度の会議開催日について、事務局のほうから御説明をお願いいたします。

内田課長            資料6の令和4年度スポーツ推進審議会スケジュール（案）を御覧いただきたいと思います。先ほど令和4年度のスポーツ推進審議会、6回の予定とお伝えいたしたところですが、また、日程については先ほど説明のあった第2次スポーツ推進計画の予定、資料5-1、こちらもありますので、これと勘案しながら開催していきたいと考えております。  
                          その点を踏まえて、今、資料6として皆様のお手元に年間スケジュール（案）を作成させていただいております。ただし、こちらに関しましては、委員の皆様が例えば何曜日の御希望だとか、日中がいいのか、夜がいいのかとか、そういうことに関わらず作らせていただいたものになっております。あるいはもう既に皆様のほうで日程が入っているよというところもあると思います。ですので、この場で、もし差し支えなければ、事務局案で御都合の悪い日程がございましたら、お教えいただければと思います。その上で、そういった御意見を伺って、事務局案で都合の悪かった日程につきましては、御意見を基に改めて会議室等を調整させていただきまして、次回の会議で年間のスケジュール案を調整させていただきたいと考えています。

以上です。

田中会長            第1回から第6回まで火曜日に設定されておりますけれども、火曜日は絶対駄目という方はおられますでしょうか。大丈夫でしょうか。先ほどちょっと言ったんですけど、8月の16日はお盆じゃないですか。皆さん、3人も4人も欠席されて会が成り立たないときには変更すると。

野川委員            8月16日はお盆じゃないか、よく分からない。どっちなんですかね。

本橋副会長          15日までがお盆です。

中川委員            火曜日は、4月19日、6月14日、7月19日というのは、第3火曜日になるのですか。体育協会のほうが現行、火曜日、1、3が部長会、理事会という感じで、第1週、第3週の火曜日なのです。ここ数年、それですと推移していますので、自分、立場上、抜けるわけにもいかないかなと思うのです。7時－9時が会合時間になります。

内田課長            そうしますと、火曜日は全部、ここに書いてあるのは体育協会さんとして難しいという。

中川委員            今、大体第1、第3火曜日で行くので、第2、第4火曜日であれば何とかなるかなという感じになります。月によっては、評議員会の開催というようなことでまたぐところは、例えば6月とか、2月は大丈夫だろうな。火曜日であれば、1、3を基本除いて、2週、4週で組んでいただければありがたいです。

内田課長            この中で第2回の6月14日、それから第6回、令和5年2月14日は第2週に当たるんですが、それ以外は全部第3週に当たっていますので、そうしましたら第2回、第6回以外に関しては、取りあえずこの場ではまた調整し直しということとさせていただきます。ほかの皆さん、いかがですか。2回と6回も希望がというところがございましたら。

田中会長 第1回を4週にすれば……。

中川委員 1週、3週で行きますので、こちらの会議、2週か4週であれば出席。

田中会長 その辺で調整できますでしょうか。

内田課長 調整させていただきます。もし差し支えなければ、年間通じて、それ以外にも曜日、この日はちょっと避けてとか、お時間、今日みたいなお時間でよければですけど。

中川委員 皆さんの御都合で変えていただければ。

内田課長 事前に皆様の御意見、逆にお伺いしておいて、次回また調整し直したものを示しさせていただきたいと思っているんですが、特にございませんでしょうか。

田中会長 次回が3週目ですよ、4月の19日。

内田課長 次回に関しては、今回と同じ、個別調整でまたさせていただきますので。特に御意見ございませんか。

田中会長 そのほか、皆さん、火曜日は駄目という方がおられたら、あるいは時間等は18時でよろしいですか。ちょうど夕飯時ですが。

内田課長 では、基本的には18時からというところで設定させていただいて、あと、曜日に関して、会議室の関係もありますので、場合によって火曜日じゃなくて、どこか別の曜日になるかもしれませんが、またお示しさせていただきたいと思います。

田中会長 スケジュールについては調整をお願いして、皆様に御連絡をお願いします。また何かありましたら、事務局のほうへ早めに御連絡していただければ。

内田課長            よろしくお願ひします。

田中会長            議題の最後になりますけれども、その他ということで、委員の皆様方、何かございましたら挙手をして発言をしていただければと思います。よろしいでしょうか。

                         特にないようでしたら、本日の議題は全て終了いたしましたので、会議を終了いたしたいと思ひます。予定の1時間よりはかなり、活発な御意見をいただきまして本当によかったと思ひています。

                         では、本日はこれで終了といたします。どうもありがとうございました。

—— 了 ——